

平成29年度公営企業局予算見積総括表

電気事業会計

平成29年度予算見積額	2,170,429 千円
平成28年度当初予算額	2,383,704 千円
差引増減額	△ 213,275 千円
対前年度比率	91.1 %

工業用水道事業会計

平成29年度予算見積額	330,769 千円
平成28年度当初予算額	379,974 千円
差引増減額	△ 49,205 千円
対前年度比率	87.1 %

病院事業会計

平成29年度予算見積額	16,593,632 千円
平成28年度当初予算額	16,632,386 千円
差引増減額	△ 38,754 千円
対前年度比率	99.8 %

※平成29年度予算見積額には、人件費(概算)を含むため、今後変更となります。

平成29年度 公営企業局予算見積体系表

1 電気事業会計

(単位:千円)

	29年度予算 見積額	28年度当初 予算額
電 気 事 業		
収益的収支	238,079	30,869
収益的収入	1,646,794	1,542,870
水力電力料	1,544,079	1,426,736
雑収益	598	461
風力電力料	71,433	73,859
受取利息	3,227	5,401
駐車場収益・他会計負担金	9,168	8,663
長期前受金戻入	13,330	21,733
特別利益	4,959	6,017
収益的支出	1,408,715	1,512,001
水力発電費	1,028,642	1,052,921
・永瀬発電所1号水車発電機オーバーホール	138,786	
・永瀬発電所取水口除塵機ワイヤーロープほか取替	16,198	
・杉田発電所職員公舎修繕	31,652	
一般管理費	222,322	281,410
風力発電費	74,451	118,849
支払利息及び企業債取扱諸費	7,099	7,992
新エネルギー推進費	12,728	2,653
・新エネルギー推進事業費、地域交流推進事業	12,728	
駐車場管理費	252	252
消費税及び地方消費税	59,221	43,924
特別損失・予備費	4,000	4,000
資本的収支	△ 455,367	△ 860,358
資本的収入	306,347	11,345
国庫補助金	0	5,000
投資有価証券償還金	300,000	0
貸付金償還受入金	6,347	6,345
資本的支出	761,714	871,703
建設改良費	430,639	536,807
・永瀬発電所1号水車発電機回転子コイルほか更新	264,913	
・吉野発電所ダム操作装置更新	79,899	
投資有価証券	300,000	300,000
企業債償還金・予備費	31,075	34,896

2 工業用水道事業会計

工業用水道事業		29年度予算 見積額	28年度当初 予算額
収益の収支		5,517	4,776
収益の収入		273,782	274,839
給水収益等		173,094	173,547
受取利息・駐車場収益・他会計負担金		4,193	4,756
長期前受金戻入		95,495	95,536
特別利益		1,000	1,000
収益の支出		268,265	270,063
給水費		94,536	92,189
・河床止復旧	14,614		
一般管理費		26,875	33,238
減価償却費・資産減耗費		132,275	133,884
支払利息及び企業債取扱諸費		4,553	4,892
駐車場管理費		1,747	198
消費税及び地方消費税		5,279	2,662
特別損失・予備費		3,000	3,000
資本的収支		△ 62,504	△ 109,911
資本的収入		0	0
他会計補助金		0	0
資本的支出		62,504	109,911
建設改良費		35,449	83,195
・送水ポンプ軸受冷却水配管及び補給水タンク取替	5,712		
企業債償還金等・予備費		27,055	26,716

3 病院事業会計

(単位:千円)

29年度予算 見 積 額	28年度当初 予 算 額
-----------------	-----------------

病院事業		
収益的収支	△ 491,571	△ 266,928
収益的収入	13,876,203	13,968,286
医業収益	10,187,929	10,402,540
入院収益	7,166,852	7,382,268
外来収益	2,772,837	2,755,134
その他医業収益	248,240	265,138
医業外収益	3,688,271	3,565,743
特別利益	3	3
収益的支出	14,367,774	14,235,214
医業費用	13,905,183	13,739,481
医業外費用	384,363	415,948
特別損失	77,228	78,785
予備費	1,000	1,000
資本的収支	△ 322,886	△ 387,342
資本的収入	1,902,972	2,009,830
企業債	214,100	675,000
借入金	468,693	271,401
負担金	1,200,883	1,012,222
補助金	3,874	3,687
その他資本的収入	15,422	47,520
資本的支出	2,225,858	2,397,172
建設改良費	239,642	740,083
企業債等償還金	1,986,216	1,657,089

平成29年度 公営企業局予算見積の概要

1 電気事業

予算見積額

(単位：千円)				(単位：千円)			
収益的予算	H29	H28	増減	資本的予算	H29	H28	増減
収入 (A)	1,646,794	1,542,870	103,924	収入 (C)	306,347	11,345	295,002
支出 (B)	1,408,715	1,512,001	▲ 103,286	支出 (D)	761,714	871,703	▲ 109,989
収支差 (A-B)	238,079	30,869	207,210	収支差 (C-D)	▲ 455,367	▲ 860,358	404,991

【増減要因】 売電料金の単価アップによる増と退職給付費の減による。 【増減要因】 投資有価証券の償還による増と建設改良費の減による。
 ◎収支の差額については減債積立金等の内部留保で対応

(1) 水力発電

永瀬、吉野、杉田の3つの水力発電所において、年間約1億6,800万kWh（一般家庭約53,000世帯分）の電力を売電供給するため、必要となる施設の改良及び修繕工事等を計画的に実施します。

大規模改修等

- ①永瀬発電所1号水車発電機オーバーホール 138,786千円（債務の現年化分）
- ②永瀬発電所1号水車発電機回転子コイルほか更新 264,913千円（債務の現年化分）
- ③吉野発電所ダム操作装置更新 79,899千円（建設改良分）



①永瀬発電所 発電機



②発電機回転子



③新製操作卓

(2) 風力発電

大豊、甫喜ヶ峰の2つの風力発電所（合計4基）で、約360万kWh（一般家庭約1,100世帯分）の電力を売電供給します。
 また、来年度は、両発電所のFIT制度による売電期間の終了後におけるリプレースの可能性についての調査を実施します。

風力発電所のリプレース可能性調査 (P.7)

大豊風力発電所



甫喜ヶ峰風力発電所



(3) 再生可能エネルギーの推進

地域の貴重な資源である再生可能エネルギーの利活用を進めるため、市町村等が実施する取組みを積極的に支援します。

2 工業用水道事業

重要な産業基盤の一つである低廉豊富な工業用水を安定的に企業へ提供するため、工業用水道の適切な維持・運転管理を行います。

予算見積額

(単位：千円)				(単位：千円)			
収益的予算	H29	H28	増減	資本的予算	H29	H28	増減
収入 (A)	273,782	274,839	▲ 1,057	収入 (C)	0	0	0
支出 (B)	268,265	270,063	▲ 1,798	支出 (D)	62,504	109,911	▲ 47,407
収支差 (A-B)	5,517	4,776	741	収支差 (C-D)	▲ 62,504	▲ 109,911	47,407

【増減要因】 給水収益の減と退職給付費の減による。

【増減要因】 建設改良費の減による。

◎収支の差額については減債積立金等の内部留保で対応

3 病院事業

- 病院事業では、あき総合・幡多けんみんの両病院の経営を通じて、地域の医療サービスの向上に努めています。
- 平成29年度からは、現在策定中の「第6期経営健全化計画(H29～H32)」における重点取組項目(案)を着実に推進することにより、医療サービスの質のさらなる向上を図るとともに、病院経営の健全化を目指してまいります！

予算見積額

収益的予算	H29	H28	増減
収入 (A)	13,876,203	13,968,286	△92,083
支出 (B)	14,367,774	14,235,214	132,560
収支差 (A-B)	△491,571	△266,928	△224,643

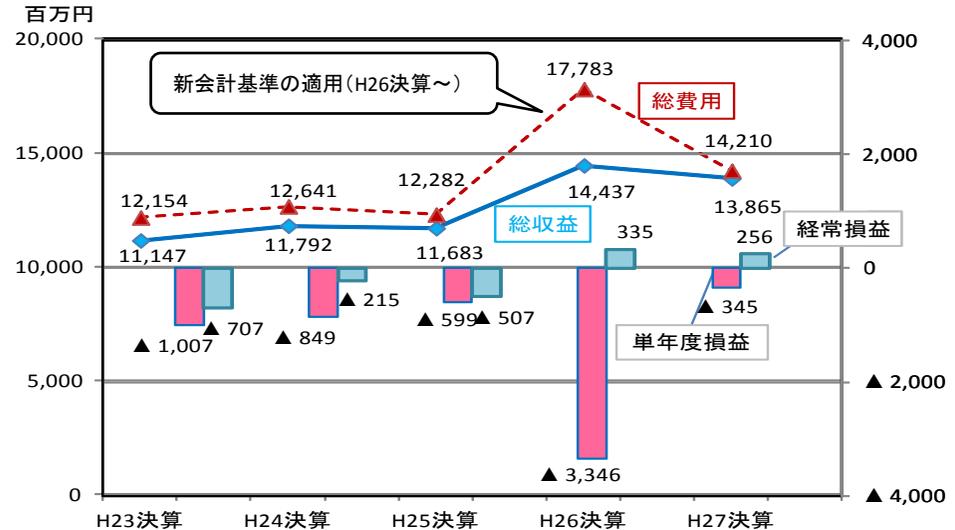
【増減要因】 医業収益(2.0億円)の減と繰入金等(1.1億円)の増、人件費(1.5億円)の増による。

資本的予算	H29	H28	増減
収入 (C)	1,902,972	2,009,830	△106,858
支出 (D)	2,225,858	2,397,172	△171,314
収支差 (C-D)	△322,886	△387,342	64,456

【増減要因】 地域連携システムの企業債(1.0億円)の減とCT(1.4億円)更新の減による。

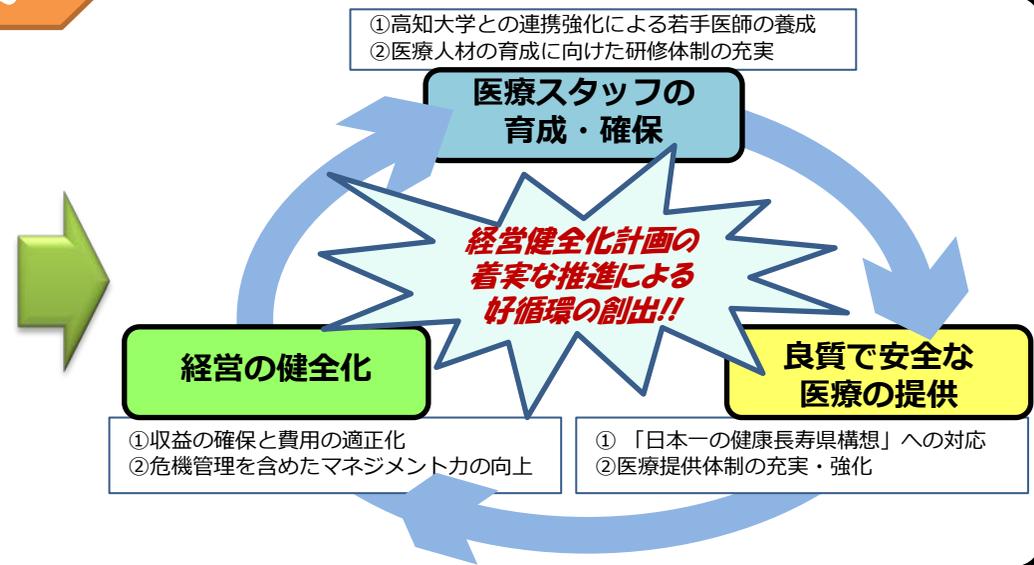
◎収支の差額については過年度の損益勘定留保資金で対応

病院事業決算の推移



第6期経営健全化計画 ～重点取組項目(案)の着実な推進～

- (1) 地域地域で安心して住み続けられる
医療提供体制の整備(P.8)
○地域医療構想等の推進につながるサービス提供機能の向上
- (2) 医療機能の向上による経営の健全化(P.9)
○質の高い医療の提供につながる経営改善の目標設定
- (3) 医療人材の安定確保
○医師等の医療スタッフを確保・育成するための取組の強化
- (4) 南海トラフ地震対策の充実・強化
○熊本地震等を踏まえた行動計画の見直し等への対応



大豊・甫喜ヶ峰風力発電所のリプレース可能性の調査委託 予算額(8,773千円)

1. 現状と課題

(1) 風力発電所の現状

- | | |
|---|--|
| <p>① 大豊風力発電所 (FIT売電期間 平成31年8月31日まで)</p> <ul style="list-style-type: none">➢ 出力(連系容量) 1,200kW(600kW×2基):17.96円(FIT単価)➢ 機種 LW50/750 (オランダ)➢ 運転開始 平成11年4月1日～ (17年経過)➢ 現金収支の状況 128,031千円 (建設コスト 170,886千円) | <p>② 甫喜ヶ峰風力発電所 (FIT売電期間 平成36年5月31日まで)</p> <ul style="list-style-type: none">➢ 出力(連系容量) 1,500kW(750kW×2基):18.81円(FIT単価)➢ 機種 V52-850 (デンマーク)➢ 運転開始 平成16年1月28日～ (12年経過)➢ 現金収支の状況 140,729千円 (建設コスト 206,927千円) |
|---|--|

(2) 共通の課題

- ① 両発電所ともに送電線に空き容量が無く、既設風車を廃止することで生じる容量分(1,200kW、1,500kW)までしか連系できない状況！
- ② 風車の大型化が進み、1基当たりの出力2,000kW以上の製品が主流となっており、国産機種では、2,000kW以上の風車のみが製造！

2. リプレース可能性調査の具体的な内容

既設容量内でのリプレース可能性調査のポイント

現地で導入可能な風車は、規模が大きくなることから、設置の可否や収益可能性等についての詳細な調査が欠かせない！

- ① 両地点での機器更新による事業継続の可能性調査の実施！
- ② 集約・廃止を含めた経済的な事業の可能性調査の実施！

具体的な調査委託項目

- ① 既設風車近傍での建設の可否
 - 2,000kW規模の風車建設に必要なスペースの確保についての検討
- ② 風況データの解析
 - 建設時の風況データや既設風車のデータ、NEDOの風況マップなどの参考となる資料を用いた風況解析
- ③ 建設費の積算と事業性評価
 - 風況解析等に基づく発電電力量や現場の施工性等を考慮のうえ積算した建設費での詳細な事業の可能性評価
- ④ 蓄電池の併設による連系の可能性
 - 既設風車の容量分までしか連系できない課題の解決策として、蓄電池の併設が考えられることから、蓄電池の併設による費用対効果の検証
- ⑤ 国の動向と今後の方向性の把握
 - 全国的にも共通の課題である系統空き容量の拡充についての議論の動向や、今後低減する見通しである風力FIT価格の見通しの方向性などを含め、今後の方針決定に必要な情報収集

(1) 地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備 ～ 地域医療支援費（仮称）の創設 ～

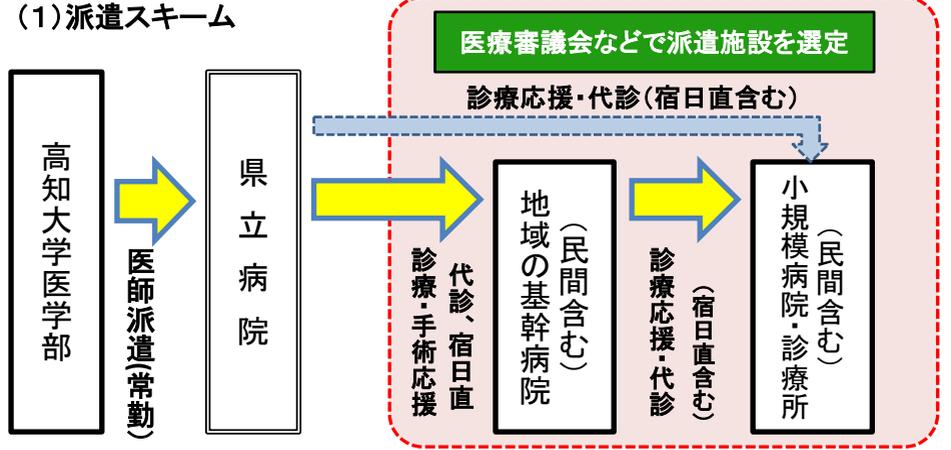
1. 背景

医師の高齢化などにより、医療機関が撤退を余儀なくされる地域が増加！
市町村の努力だけで医師を確保することには限界！

- (1) 高知大学との連携のもと、県立病院が地域の医療機関等との緊密なネットワークを構築することにより、地域医療サービスの確保対策を強力に推進（公営企業局）
- (2) 高知大学からの常勤医師の派遣は中核病院を中心とし、中核病院から地域の医療機関へ非常勤医師等を派遣する仕組みづくりの検討（健康政策部）

2. 県立病院が担う役割

(1) 派遣スキーム



(2) 医師を派遣する際の基本的な考え方

- ① 医療機関から知事に対し、文書による診療応援の要請があること。
- ② 応援の要請文書を受け、県医療審議会等において、応援の必要性についての合意が得られた医療機関であること。
 - 原則として、同じ二次医療圏の医療機関とし、地域住民に必要な医療の提供が困難な状況にあること、または、その蓋然性が高いこと。
 - 応援先の医療機関から人件費相当分が県立病院に支払われること。

3. 地域医療支援費（仮称）の支給要件及び支給額 ～ 地域医療を支える役割を担う県立病院の医師負担の軽減～

(予算額: 2,160千円)

- (1) 要件
県立病院の医師が、上記の要請・合意に基づき、勤務を要する時間内に医療機関において診療した場合（時間外勤務となった場合を含む。）
- (2) 支給額 地域医療支援費（仮称）として手当等により20,000円/回（3時間未満10,000円/回）

◆ 独立行政法人化や企業団等を除く30都道府県の調査結果（H28.9）

○ 回答：診療応援を実施 28団体（うち給与上の措置あり 16団体）

措置額	20千円超	20千円	15千円	13千円	10千円	その他
団体数	1	5	1	2	1	6

● その他の措置 = (応援先から委託料) - (派遣医師の時間給 × 従事時間) など
 ⇒ 支給額として最も多い20,000円とする（高知医療センターも同額）

4. 今後の課題

県立病院が診療応援等を継続するための医師確保対策の強化！

- (1) 高知大学・健康政策部との連携強化（専門研修医の積極的受入等）
- (2) 一般会計からの財政支援策の拡充（人件費等）

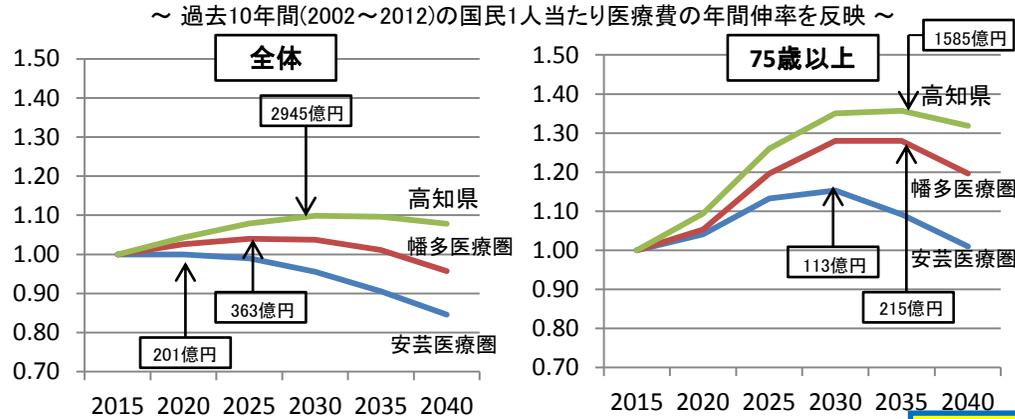
日本一の健康長寿県構想の推進！
 ～ 高知家の家族が住み慣れた地域地域で
 いつまでも安心して暮らせるために～

(2) 医療機能の向上による経営の健全化 ～ サービス提供機能の強化（あき総合病院）～

○地域における急性期の医療ニーズや平成30年度に予定されている医療・介護報酬の同時改定などに柔軟な対応が出来るよう、今後の県立病院の健全経営に向けた具体的な施策についての検討を進める。

地域の医療ニーズの動向

(1) 医療費の将来推計



(2) 救急医療等への対応状況

～ 救急車両による搬送の受け入れ状況～

年次ベース	全国(消防白書)		高知県(消防年報)	
	H25	H26	H25	H26
救急車搬送(人)	5,340,117	5,405,917	35,479	35,408
うち65歳以上割合	2,901,104	3,001,957	22,523	22,829
	54.3%	55.5%	63.5%	64.5%

年度ベース	あき総合病院			幡多けんみん病院		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
救急車搬送(人)	1,350	1,683	1,679	2,589	2,445	2,446
うち65歳以上割合	907	1,165	1,225	1,611	1,661	1,637
	67.2%	69.2%	73.0%	62.2%	67.9%	66.9%

地域の中核病院として、高齢者を中心とする急性期の医療ニーズへの積極的な対応が必要！

1. 医療制度改革を踏まえた経営戦略の検討

医療費適正化基本方針(H30～H35)

国民医療費(▲0.8兆円程度) ⇒ 県立病院の収益(約▲2億円)

地域の急性期医療を支える基幹病院として、健全経営につながる診療体制の整備に向けた検討が必要！

予算額(9,236千円)

- ①入院基本料の見直しの方向性に関する指導・助言
- ②HCU(ハイケアユニット)導入に伴う経営分析の実施
- ③地域特性を踏まえた収益の向上対策の提案

2. 地域の医療ニーズに応える救急医療体制の整備

あき総合病院の現状と課題

(1) 脳神経外科関係の救急車両による搬送患者

	H24	H25	H26	H27
	2	1	2	151

(2) 疾患別の新規入院患者数(平成27年度の上位5疾患)

順位	病名	件数
1	肺炎(誤嚥性肺炎含む)	302
2	狭心症、慢性虚血性心疾患	208
3	心不全	123
4	股関節大腿近位骨折	88
5	脳梗塞	81

脳神経外科に常勤医を配置(H27～)

脳神経疾患患者の受け入れが急増！

- ①脳神経外科医の増員に向けた医師確保対策
- ②患者の急変時における高次医療機関への搬送体制の整備(⇒救急患者搬送用車両の導入についての検討！)